第二回 日本先制臨床医学会 発表講演

アルテスネイト製剤で治療を受けた「神経膠芽腫の症例報告」

神経膠芽腫(脳腫瘍)の術後に、アルテスネイトを継続使用し、再発を認めていない症例を経験したので報告する。

患者は 31 歳男性、2016 年夏から頭痛、嘔気あり。2016 年 12 月に名古屋セントラル病院で右前頭葉の脳腫瘍と診断され同月手術施行、神経膠芽腫(4 期、余命 6 ヶ月)と診断され、2017 年 1 月から化学療法開始。化学療法は、ﾃﾓﾀﾞｰﾙとｱﾊﾞｽﾁﾝを使用した。
放射線量も併用し 合計 60gy 照射をおこなった。
化学療法については、倦怠感、悪心・嘔吐などの副作用があり、ﾃﾓﾀﾞｰﾙを初回 42 日間服用して中止した。

2017 年 10 月からアルテスネイト 180mg (3V)の注射液を週 1 回のペースで開始した。
2018 年 2 月からは、アルテスネイト 180mg の注射液を 2 週に 1 回のペースでおこなっている。
手術をした病院で定期的に、頭部 MRI 検査施行しているが、再発の兆候は認めていない。

今回悪性度の高い脳腫瘍である膠芽腫に対し、標準治療後の治療として、アルテスネイトを継続的に使用して再発を認めず、アルテスネイトの有効性が示唆された。

〔追加内容〕
治療終了後 5 年半余り経過、脳腫瘍の増殖はない。MRI 検査は 4 ヶ月おきに実施する。
現在治療は行っていない。元気に仕事、スポーツなど行っています。

医療法人桂名会 木村病院
木村 衛